

北神けいろうの国政報告：4月号

○いつも大変お世話になっています。

2、3月号では、自らの身を切る改革やこれまで実施してきた「予算の組み替え」による財源確保や、「社会保障制度の立て直し」についてご報告しました。

今回は、「社会保障と税の一体改革」についてお伝えします。今後、以下の案について国会で審議をすることになります。

社会保障の安定化 ：今の社会保障制度を守る

+ 10.8兆円程度

消費税4%程度

○年金の財源

2.9兆円程度

○将来世代への負担のつけ回しの軽減

・高齢化等に伴う増加（自然増）や安定財源が確保できていない既存の社会保障費

7.0兆円程度

○消費税引き上げに伴う社会保障支出の増加

・年金、診療報酬などの物価上昇に伴う増加

0.8兆円程度

社会保障の充実

+ 2.7兆円程度

消費税1%程度

○子ども・子育て対策

0.7兆円程度

・待機児童の解消（保育、放課後児童クラブの拡充）など

○医療・介護の充実

～1.6兆円弱程度

・高度医療や急性期医療をはじめ医療機能の強化、在宅医療・介護の充実（病院・施設から地域、在宅へ）など

○年金制度の改善

～0.6兆円程度

・低所得者への加算、受給資格期間の短縮など

○消費税5%引上げのうち、4%分は今の社会保障を守るため、1%分は社会保障のさらなる充実のために使う方向で議論をします。

時期は、2年後に引き上げる予定ですが、実際に引き上げるかどうかは、その時の政府が経済情勢などを勘案し、総合的に判断することになります。

極めて苦しい判断ですが、これ以上、将来の世代に負担をかけることはできません。皆様のご理解を賜りますよう、よろしく願いいたします。